
君の名はマリア

水色ペンキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君の名はマリア

【Zコード】

N8145E

【作者名】

水色ペンキ

【あらすじ】

交通事故によって愛犬が危篤状態になってしまった。少女はインディアンの伝承にある、死につつある人間と捕虜の魂を交換する儀式を行おうと決心するが……。

(前書き)

ちょっと実験的なので、読みにくいです。

病気のフーシュを山の上に置いてきたって言つたらパパもママも妙な顔をしてシチューに突つ込んだスプーンを止めたわママはどうしてそんなことするのって聞いたけど仕方ないじゃないそうしないとフーシュ死んじやうんだからって言い返してやつたらいつもどおりすぐ黙つたのいちいち説明しないとわからないおバカなママにはもううんざりパパみたくあたしの言つことに黙つて従つてればいいのにねそう思わないねえ？

フーシュは先週車に潰された足の付け根から体が腐つてこじんとこ裏のポーチですっとくんくん鳴いてたのよ獣医さんもさじ投げてパパは安樂死させようかなんて言つたけど冗談じやない可愛い可愛いあたしのフーシュあの子はあたしがちつちやい頃からずつと遊んできた姉弟みたいなものじゃないあの子を殺せたりなんてするもんかそんなこと考える奴はあたしが逆に殺してやるわそれにいいアイデアがあるのよあの子は死なない死ななくてすむのよ誰が見殺しになんてするもんですか。

あたしあの子が弱つていいくの毎日朝から晩まで椅子に座つてずっと見てたわ膿が凄いからうちはちょっととムツカしくて気づいたらウジが湧いてて凄く気持ち悪いのポーチの床に染みがついたりしてでもね神様幸いなるかなそやつてフーシュが弱つていくのがあたしたまらなく楽しかったのだって夏休みが終わっちゃつたら時間が作りにくくなるしそしたらフーシュを助ける時間がなくなつちゃうしフーシュが死んだら学校に行つてロージーに噛みつかせたりすることもできなくなつちゃうしだからはやく危篤になつてくれた方が助かつたのよだつてすぐ次のステップに進めるもんそいでずっとフーシュを見てたらポーチの屋根から日の光が漏れてまつ黒い蠅が光りながらそこらじゅうで唸つてるのそして今日の昼にねついにフーシュが天国への階段を登り始めたのに気づいたのよ息が細

くなつて目が濁つて多分明日まではもたないつてすぐわかつたあたしカンバスでフーシュを包んで『文化的遺構』小学校の郷土見学でいくアレのところまで自転車で運んだのよ夜の準備にね山のてっぺんのトーテムポールとこに着いたときにはもう日が暮れかけてその辺にいつもいるマヌケっぽい小学生とかの姿も見えなかつたちょうどいいわ神様のご加護よねきっとだつてガキにフーシュをいじられたりする心配しなくて済むし。

ポールの下にフーシュを置いたら地面が意外とじつじつして可哀想かなとちよつと思つたけどどうせ何時間かのことだしいやと思つてそのままにしてきたのフーシュの目はヤーが出ててもう半分くらい開かなくなつてそれでも黒い田の玉がその隙間からあたしを見てなんかもうやるせない気分よ安心してよねあたしがあんたを絶対助けてあげるんだからつて聞いてる? 聞いてるの? ハロー? ガーリヤ? ラット・ラビイ? あんただちずつとあたしに喋らせる気? ニヒツト、そんなことないわ。聞いてる。

そこで夕飯終わつてママもパパもテレビ見だしたのねこうなつたら一人だけのダンランなわけあたしみたいなメンドクサイのには構おうとしながら好都合あたしこつそり抜け出してまずはマリーニヨのペットショッピ寄つてウサギを一匹買つたのよあとで使うからね耳の垂れた毛の長い奴でとんでもない間抜け面で一十ドルもすんのねそいでマリーニヨのクソ親父可愛いでしょ飼い方分からなかつたらいつでも聞いてくださいなんてやたら肩とか触つてくるのいやらしげつたらありやしないカゴとかないし手足紐で縛つてくださいつて言つたらあの親父ビックリしちゃつて氣味が悪いみみたいな目であたしを見てたわ何よ別に変わんないじやないちよつとの間生きてりやいいんだからそれじやウサギが痛がるとかなに言つてんのアホらしい魚釣るとき針じや痛いから糸だけで釣ろうなんて考えるからそんなわけないじやないそんでウサちゃんの手足縛つて自転車のハンドルにぶら下げる家帰つてガレージでパパの工具箱探して持つてこうと思つたんだけどメチャクチャ重くて全然無理なのよ仕方な

いからハンマーとノコギリだけ持つて山に戻ることにしたの。

荷物はさつきより軽かつたけど山に登るのはさつきよりずつとめんど臭かつたなぜってハンドルにぶら下げたウサちゃんがペダル漕ぐたびにぶらぶら揺れてシャフトに当たるのよそのたんびにピクピクして大人しくぶら下がつてつて言つても聞くもんじやないわ本当にマヌケなウサギよねでも気をつけないと着く前に死んじやつたら元も子もないでしょそんで頂上ついてチェックしたらウサちゃんなんとか生きてひと安心そんでフーシュもまだ息があつて準備万端あたし早速ウサちゃんの紐を半分ほどいてフーシュの真上のトーテムポールの節んとこにくくりつけたわ後足で蹴られると痛いのよねあんな情けない顔してるくせにそんでノコギリでウサちゃん暴れるし紐外を挽いたのよゴリゴリゴリつて骨が硬くてウサちゃん暴れるし紐外れるんじやないかつて冷や冷やしたわそんで血が凄くて手もぬるぬるするし生温かいし服も汚れるしああサイアクつて思つたけど仕方ないわよねフーシュのためだもんぼたぼた滴る血がフーシュの上に落ちてなんとか準備は完了してさあ次のステップよつてあたし裸になつて脱いだ服で手を拭つたのあとはラットの仕事よウサちゃんの血で体に模様描いてあとは歌だけ？あたし知らないけど図書館で見た本じゃそうなつてたから歌とか踊りとかラットに任せるつて言つたらこの子よく知らないなんて言い出してふざけんじやないわよ小学校のとき郷土見学でここ来てダーシー先生にインディアンの魂の入れ替え儀式の跡地つて聞いてそれからずつとあたし覚えてたのよ呪術とか図書館で調べたりして瀕死の人の魂を捕虜の体に入れ替えるとかつてあんだがあたしの中に入ってきたのもその頃じやないあんたインディアンの子でしょなんで出来ないのよこのクズ役立たず仕方ないからうる覚えの挿絵通りに全部あたしが模様も描いて歌とかそれっぽい感じで『かーみーさーまーおーねーがーいーしーまーすーフー・シューとーマー・リーアーのーたーまーしーいーをーいーれーかーえーてーくーだーさーいー』つて歌つてつてか神様つて誰よ？

でもしばらく待つてもなにも起こらないのねフーシュ？ フーシュ？ あたしの中に入った？ って聞いてもフーシュは返事しない。スマリアはいつも通りいるんだかいないんだか引き篭もつたままだしラットも助けてくんないしもうわけわかんない試しにもう一回繰り返したけどなにも変わらなくてあたし泣きそうになつてどうしようとか思つてたら邪魔者が来たのよクラスメートのロッドあなたも知つてるわよねお友達だもんねジョギングスタイルでいきなり登山道の方から上がつてきておいマリアなにしてんだよなんてあんたの知つたこっちゃないわよあたし忙しいからここでターンするならすぐ行つてよねつていつたけどこのマヌケ野郎立ち止まつてこっちはボカンつて見てるのよマジむかつく時間がないのよあんたがいると気が散るつて言つてもテコでも動かない気配やんなるわそいでなんでお前裸なのつて見りやわかるだろボケ儀式に必要なのよつつつたら欲求不満の儀式なら手伝うぜなんて一ヤーヤしてああほんともう男つて馬鹿よねなに勘違いしてんのよ。

イライラして辺り見回してたらロッドの奴近づいてきたあたしの肩に手を載せてどうしたんだよこれつて模様描いたあたしのおっぱいとか触ろうとすんのもう邪魔しないでよマジ時間ないんだからフレ・シェが死んじゃう前に何とかしないとならないんだからつてんのに何だよそれわけわかんねとか言つてわかんないならあつち行つてよつて頼んでもジッパー押さえて肩に腕回してきてああもう嫌なんなるでもそのときふと思つたのよフレ・シェはオスでしょだからもしかしたらスマリアとフレ・シェの入れ替えはできないのかもしけないつて本にはそんなこと書いてなかつたけどねありそうな話じやないだからロッドで試せないかしらと思つたのうまくフレ・シェがロッドの中に入つたらこいつ連れて帰ればいいんだし学校も楽しくなるわよねそれであたし訊いたのよねえロッドつき協力してくれつて言つたわよねつてそしたらロッドの奴いつのまにか腰屈めてあたしの乳首に舌伸ばしてたんだけビックリしたみたいな顔してこつち見上げたわ男つて馬鹿よねこうこうとき女の反応が一つか二つだ

と思つてそうじゃなかつたら途端に混乱しちゃうんだから。

何だよその気なら早く言えよなんて作り笑い浮かべちゃつてまあとなことどうでもいいわ手伝つてさえくれるならねそれでロツドをトーテムポールまで引っ張つてたら何だこりやうわ臭つせえとか騒ぎ出して顔しかめちゃつてお前頭イカれてるブードゥーマニアかよなんて戸惑つちゃつてんの情けないつたらありやしないのに何でもいいからセツセツと脱いでよあんたのお腹に絵描くからつて言つたら脱ぐのだけは早いのよねでこのアホを素つ裸にしてウサちゃんの固まりかけの血で胸とか腹とか絵描いてたらロツドの奴腰突きだしてペニスをあたしの顔に当てようとかしゃがつて邪魔くさいつたらないわノコでそのままぶつた切つてやろうかつて思つたくらいそれで描き終わつて並んで立つて祈りなさいつて命令したけどこのトンマなんて祈ればいいんだとか何に祈ればいいんだとかブツブツ言つてじやああたしが手本見せるからその通りにやつてつて言つてさつきみたいに『かーみーさーまーおーねーがーいー』つてやつたのよそしたらコイツ笑いやがつてお前イカれてるぜつてそれはさつき聞いたわ何でもいいからやるのよ時間ないんだから早くお願ひ急いでよつて頼んでも聞くもんじゃない股ぐらおつ立ててもういいだろさつさとやろうぜなんてあたしの肩掴んであもうこんな奴アテにしたのが間違ひだつた。

ロツドの奴あたしを押し倒して脚の間に足入れてこようとするしフーシエ？ フーシエ？ 聞こえてるの？ この男の中入りなさいつて呼んでみても何も起こらないロツドの奴フーシエって何だよとか聞くしそんなことも知らないあたしの犬よつていつたら何だお前犬とやりたかったのかよだつてさホント失礼なやつフーシエはそんなんじゃないけどもしそんなになつたとしてもフーシエの方がこの男よりよっぽどマシよねああもうぢいてよ手伝う氣ないんなら邪魔なだけだからつて頼んだけどこの男もうやることしか考えてないのなんだかんだいつて力強いしああわかつたわあたし次の手考えるからガーリヤこいつの相手しててよつていつたらこの子ブツブツ文

句言い出してまつたく嫌くなるわ。

そりやそうよ、なんであんな男にやられるときだけあたしが前に出なくちゃならないの？

「うるさいわね普段役に立たないんだからそれくらいでしょラットは子供だし『ミーチャとガーリヤのペテルブルグ旅行記』じゃあんたあの銀髪のハンサムとやりまくりだつたんじやないのロシア男じやないと嫌だつていうのまあいわこの子がロッジに抱かれてる間にあたし考えたのよフリー・ショはロッジにも入らなかつたなぜからつて一番ありそなのはロッジが眞面目にやらなかつたからつて可能性だけじやあどうすればいいのよこのクソ野郎セックスにしか興味ないみたいだし何とか自分の体から出て行きたいとか犬と心を入れ替えたいとか思わせられないかしらつてそれで考えたんだけどぶつちやけ無理よねじやあどうしたらいいのよつてかそもそも全部仮説なのよねカセツカセツカセツ雄同士じやないと入れ替わらないのかもつてのも仮説だしホントのことなんてわからないじやあ試しにこうしてみたらどうかなつて思つたのよロッジとマリアを入れ替えるのそれに成功したらあらためてフリー・ショとロッジを入れ替ればいいんだわそれで入れ替えが可能かどうかわかるじやない。

そう、それでキャシーがわたしに丸投げしたのよ。ひどい話ですよ。なんでわたしが手伝わないとならしいのよ。知らない男に抱かれたりまでして。言つとくけど、わたしあんな犬ツコロになんて興味ないのよ。

「うるさいわねこの好き者今はあたしが上なんだから黙つて言つこと聞いてりやそれでいいのよ実際あんただつてまんざらでもなかつたんでしょ結局協力はしたんだから。

マリアがいけ好かないだけよ。試す価値があるなと思つただけ。それでね、あの男にあたし聞いたの、ねえ、ホンキであたしの中に入つてみないつて。彼もう入れてるじやねえかとか言つたけど、そうじやなくて、もつと、マジで、徹底的によつて言つたら、なんだか二ヤついてオッケー、じやどうしたらいい？ とか聞いてきたの

ね。じゃあやりながらでいいからシャツ着てよつて頬んだの。何だよ、そういうシチューが好きなのか？とか言つから、まあそんなどこつて答えて、シャツ取つてあの男の頭に載つけたわ。そしたらね、笑っちゃうけど、あいつわたしの言つたとおりにペニス抜かないでそのままシャツを着ようつていうのよ。で案の定、うまく着れずにもがいてるの。わたしあいつの首に腕回して起き上がつたわ。ロッドだけ？彼、裏返つたシャツの中に頭が隠れててね、ウクライナの案山子みたいに腕がこう、なんていふか、変に曲がつたまま固まってるの。その上からぐつと抱きしめて、ハラショ一、そのままでいいのよ、そのまま続けて、つて言つたら、彼ね、何か妙に興奮したみたいで、じゃあそのまま首抱いてくれつて言つてあたしの腰に両手をあてたのよ。あたし彼の膝の上に座り直して、こつちで腰浮かせながら横にあつたハンマーを手に取つたの。で、彼の胸を押してちょっと間を開けてね、シャツで目隠しした頭の上に思いつきり打ち降ろしたわけ。パコンつて軽い音がしたわ。古い椅子を叩き壊して、ストーブの焚き付けを作るみたいな音。

あれはナイフだったわよガーリヤロツドの奴ぐつたりして挿れたまんまのペニスもすぐしほんじやつて一瞬死んだかなつて思つたんだけど血の滲んできたシャツをめくつたら口から泡吹いてて何かごぼごぼ言つてるのいい按配にシニカケになつてくれたわそれでロツドのお腹に腕回してもつかいやつたのよ『かーみーさーまーおーねーがーいーしーまーすーロツードーとーマーリーーーーのーたーまーしーーーをーいーれーかーえーでーくーだーさーいー』つてでもやつぱつまくいかないつぽいロツドだつたらマリアと入れ替わつたらすぐ返事してくれそうなもんなのに呼んでもなにも言わないんだもん仕方ないからもうヤケになつてガーリヤとラツトにも同じこと言わせたのよでも駄目だつたどうなつてんのかしらね。

そもそも、魂の入れ替えができるなんて信るほうがおかしいんじやないかしら。

減らず口叩いてんじやないわよわつときはマコアとロツド入れ替え

るなら協力してもいいって思つたなんて言つたの誰よいい加減自分に都合のいいことばっかり言つのよしてよねラットはどうなのよあんたあの伝承を信じてたのどうなのよ。

あたし、わかんない。

まあいいわ結局ロッドとマリアの入れ替えも失敗したのよもう打つ手なしつてわけウサちゃんの血もなんか固まつてきてるし仕方ないからロッドを一、三発ハンマーでぶん殴つて新しい血で模様書き直して何回か一人ではじめみたいにフーシェとマリアの入れ替えを試してみたんだけど結局ダメそんで気づいたらもう月がいい加減高く昇つってるし触つたらもうフーシェも冷たくなつてもう残念だけあきらめたわゼツボーつて感じだつたあたし涙出てきてごめんねごめんねフーシェあたしあんたを救えなかつたよつてああもう畜生ガーリヤに後片付け全部任せてあたしづつと泣き腫らしてた。

仕方ないわよ。わたしとりあえず服着て、ウサギの死体を藪ん中放り込んで、あとものは重いし汚いしでほつといて帰ろうとしたのよ。でもキャシーが犬だけは連れて帰るとか言つから、カンバスごと犬の死体を持ち上げて、なんとか自転車のカゴに入れたのよ。あは、足がもう硬直しててね、なんかカゴから真つ直ぐになつた足が四本ピヨコつて出てるところなんか、いかにもアメリカつて感じ。カーネルサンダース？ なんだつけ？ 箱詰めの鳥のフライ、あれ開けたみたい。

黙りなさいこのバカ。

それでこの子の家まで帰つてきたら、おばさんがね、どうしたのマリア、その恰好血だらけじゃないつていうから、返り血なのよ、ロジャーとかいう男に急に襲われてつて冗談半分で言つたら、ロジャーじゃないわロッドよ。

そうだつけ？ まあ真に受けちゃつて、すぐおじさんが出てきてどこでだ、その男はどうなつたとか聞くから、場所を教えたわけ。犬の死体を降ろす暇もないわ。そしたら笑っちゃうのよ、すぐ警察沙汰になつて、その晩のうちにあたし病院やら警察署やらたらい回

しよ。ロジャー？ ロッドか、あれも死んじやつたみたいでお氣の毒でね、次の日彼の両親と警察署の前でばったり出くわして、マリア、お前にいつか復讐してやるなんて物騒なこと言われたりして。キヤシーは三日間くらいこ引きこもっちゃうじ、めんどくさいつたらないわ。まあ結局正当防衛つてことになつたんだけど。レイプに抗つたキエフの女ガリナここにあり、なあんて。

後始末については感謝してるわよガーリヤあたしが喪喪喪喪喪つて感じになつてるあいだよくやつてくれたと思つて。

それははどうも。

しかし残念ねフーシュが死んじやつたこともそうだけどマリアあんたをこの体から追い出せるいい機会だと思ったのにあたしたちが生きてる限りあなたも生きてるなんて不条理だわもづつとそうやつて心の奥に引きこもつて返事も何もしないくせにあんたなんてどつかにいつてしまえばいいのよ。

ダーダー、まつたくだわ。

聞いてるのマリアこのクソ女あたしがママのお腹の中で死んであんたがあたしを吸い取ったときからいつかあんたを殺してやるつて決めてたのにあんたはいつまでもそうやつてのうのうと善人ぶつて我関せずなんて決め込んじゃつてあたしたちの後ろに隠れてこの卑怯者。

そう、そう！

わかつてんのよ何も言わなくたつていつからあんたがそやつて黙つて聞いてるかとかあたしたち同じ体の中にはいるんだからねえマリアあたしあきらめないわよマリアいつかマリアあんたを消し去つてやるマリア聞いてるんでしょうマリアいつまでもそやつてマリア無視できると思わないことねマリアあんた窓ガラス越しにビクビク外を見る子供みたいにあたしたちのことずっと見てるんでしょうマリアねえマリア！ いつか殺してやるわ！ マリア！

マリア！ いつか向きなさい！

あ
な
た
よ
!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8145e/>

君の名はマリア

2010年10月8日15時23分発行